

令和4年

6

月定例会ハイライト

第295回

令和4年6月定例会は、6月2日に招集され24日までの23日間の会期で開催しました。定例会の初日には13議案が上程され、諮問1件を原案どおり適任と答申、人事案件3件及び名誉市民の称号を贈ることについても原案どおり同意しました。また、一般会計補正予算1件を原案どおり可決しました。

10日には議案に対する質疑を各会派の代表5名が行い、続いて、13日までの2日間にわたり、11名の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。15日からは常任委員会が開かれ、付託された議案の審議を行いました。

最終日には、7議案を原案どおり可決するとともに、同日提出された意見書案3件のうち1件を可決し、閉会しました。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（8月下旬掲載予定）にてご覧いただくことができます。

1 食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書案を可決

6月24日の本会議最終日に、議員提案による食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書案を全会一致で採択し、国などに提出しました。

食の安全保障と国内農業の安定を求める意見書

要旨 ロシアのウクライナ侵攻により一気に世界情勢は不安定となり、小麦をはじめとする様々な食料が国内に入りにくくなり、加えて石油価格も高騰し、商品の物価上昇が続いている。今こそ国内、地域の農業が安心、安全な食糧を供給すべきだが、その期待に応えることができない現状である。情勢が不安定化している今、食料自給率を高め、若い人が夢を持って農業に就労できるようになるなど、農業施策の見直しが必要であることから、次の4項目を要望する意見書を提出しました。

- 1 国会での農業施策の早期審議
- 2 地域農業の活性化
- 3 農家、農業経営者への肥料・燃料代の支援
- 4 働ける農業（儲かる農業）の確立

意見書の
全文はこちら



意見書 QR コード

2 令和4年度一般会計補正予算3議案を審査・可決

コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」による住民税非課税世帯や子育て世帯等への給付金の交付、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種やデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した事業実施、健幸都市推進や劇場型周遊観光事業実施などのための補正予算3議案が提案されました。

1議案は定例会初日に可決され、2議案は予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）において、2日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しました。